



光れ！ けやきッス

令和4年度

第7号

11月16日

発行者 引地 健二

熱く、楽しく、全力で取り組んだ運動会！

※ HPではカラーでご覧になれます。

11月12日（土）、さわやかな秋晴れの下、今年度の運動会が行われました。今年度も種目数の削減や保護者の方々の参観の人数制限、また、来賓・高齢者の招待なしなど、昨年同様、感染拡大防止のための制限を設けさせていただき、縮小した形での実施となりました。5年生の坂本慶心さんが考えてくれた「**もう『熱意』進め『勇気』 勝利はもうこの手の中に**」のスローガンのもと、熱い戦いが繰り広げられ、白熱した思い出に残る運動会になりました。運動会を通して、〈玄関前の色付いたイチョウ〉

全力を尽くして取り組むことの大切さや団結することのすばらしさを感じたのではないかと思います。今後の学校生活にも、ぜひ生かして行ってほしいと思います。

子供たちの体調管理や参観者の健康チェックにご協力いただくとともに、当日温かい応援や拍手を送ってくださった保護者の方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。



赤白団長による誓いの言葉



1年生：1ゴー！1エイ！横西体



2年生：全力で走るを やらなくちゃ



1・2年生表現：けやきッスおうえんたい！参上！



男子代表リレー：121周年キングリレー



3年生：ダッシュだ！3年生！



4年生：超特急だ！4年生！



3・4年生表現：新時代のエンジンにおれはなる！



女子代表リレー：121周年クイーンリレー



5年生：絶対に負けられない戦いがここにある



6年生：Last run！～勝利に向かって突き進め～



5・6年生表現：もうろ！横西ソーラン！

● 日の入りの時刻が早くなってきました・・・

暗くなる前に帰ろう

この時期は日没が早く、児童が下校した後の遊びからの帰宅時刻が心配です。

★宇都宮で最も日没が早くなるのは・・・

国立天文台のHPによると、宇都宮の日没時刻は、11月30日～12月13日の14日間が一番早く16：25が続きます。1年間で最も日没が早い日が14日間も続くこと知り、驚きました。ちなみに冬至の12月22日（木）は16：29で、17：00になるのは、1月27日（金）です。日没から30分後には日がどっぷりとくれてしまいます。学校で指導している2学期の帰宅時刻は16：30です。学校でも働き掛けますが、ご家庭や地域でもご指導のほどよろしくお願いいたします。



◆ 土曜授業の開催について

全市一斉土曜授業

12月3日(土)



今年度も12月の第1土曜日に全市一斉土曜授業が実施されます。本来であれば、保護者の方々だけではなく地域の皆様にも児童や学校の様子を公開し、本校の現状をご理解いただきたところですが、感染症も拡大の傾向ですので、地域の方々には参観をお控えいただき、保護者の方のみの参観とさせていただきます。これまでの授業参観と同様に、お子様の出席番号で時間を指定させていただいての分散参観といたします。詳細につきましては、過日配付いたしました通知をご確認ください。また、以下の感染対策にご理解・ご協力くださいますようお願いいたします。

■参観者は、各ご家庭1名のみとさせていただきます。

■参観者は、通知下欄の検温表の提出をお願いいたします。

■昇降口付近での消毒をお願いします。また、マスクを着用し、参観中の立ち話等もお控えください。

なお、今年度は2・3校時に児童会活動「なかよし集会」を実施します。縦割り班で協力し合い、各委員会が考案したゲームウォークラリーに挑戦するという企画です。こちら、本来であれば、縦割り班で協力し合って、仲よく活動する姿をご覧いただきたところですが、校内での密を避けるため、今回は公開せず、子供たちのみで実施させていただきますのでご了承ください。

▲ おにぎりの日！！



11月8日(火)はおにぎりの日でした。これは、「お弁当の日」の一環として実施したもので、今回は、給食で出したわかめご飯を自分でおにぎりにして食べるという企画でした。おにぎりを握るという体験を通して食に対する関心を高めてほしいというねらいです。

上手に握ることよりも、自分なりのおにぎりを作ることを大切に活動を進めました。お椀によったご飯をビニール袋に入れて握るという方法を取りましたが、子供たちは、三角形や丸形、俵形など様々な形のおにぎりを楽しみながら作り、笑顔でほおばっていました。

11月30日(水)は、陽南地域学校園で統一した「お弁当の日」となります。学年の発達段階に合わせて、また自分に合った目標を立てて、親子で協力してお弁当作りをしていただければと思います。ご協力よろしくをお願いいたします。



♠ 稲刈りは楽しかったです！ ～5年生:「エソジマモチ」の収穫～



5年生は、総合的な学習の時間に、宇都宮の在来品種で「幻の陸稲」とされてきたエソジマモチについて学んでいます。今年度も宇都宮白楊高校や地元の農家の方々と連携して学習を進めてきました。

9月末には、その収穫、稲刈り体験を実施しました。まず、学校近くの瀧尾神社に行き、白楊高校の先生から、エソジマモチの歴史についてお話を聞きました。瀧尾神社には、明治20年代にエソジマモチを育成した篤農家・篠崎重五郎さんの功績を讃えた記念碑が建てられており、その石碑を前に、盛んに栽培されていたころの様子や都市化によって畑地が激減し作る農家がなくなったこと、研究所に少しだけ残っていた種もみを白楊高校の先生と地元の農家の方が育て、復活させたことなどを学びました。その後、圃場へ移動し、白楊高校生と一緒に稲刈り体験をしました。鎌を使って稲を刈るのは初めての子供たちばかりでしたが、高校生に優しく教えてもらいながら楽しく活動することができました。なお、この陸稲・エソジマモチを原材料とした「おかき」が今後スーパー等で販売される予定になっています。機会がありましたら、ぜひご賞味ください。

